

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 20 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	作業道開設事業費					
担 当 課 係 名	農 林 課		林 務 係		作成者	田口幸栄
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	特色ある資源を活かした産業創造のまち				総合計画の ページ
	基本計画	森林の整備と林業の振興				
	主要施策	林内路網の整備				66
予 算 費 目	一般 会計	6 款 農林水産業費	2 項 林業費	2 目 林業振興費		
事 業 期 間	平成 年度 ~ 平成 年度		新規 / 継続の区分		継続	
性 質 区 分	☐ 市民サービス ☒ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☒ 内部管理					
根 拠 法 令 等						
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務					
運 営 方 法	☐ 直 営 ☒ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助					

【事務事業の実施内容】

事業の対象 （誰のため・何を）	地区の森林所有者
事業の目的・意図 （どういう状態にしたいのか）	秋田県の補助採択基準に合致しない作業道を市単独事業で開設する。
事業の内容 （どのような業務、活動を行うのか）	市道や林道から造林地まで、幅3.6mの林業用作業道路を開設する。

【事務事業の推移】

	項 目			単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	
効果	活動指標	作業道の路線延長	目標	m	234	100	60	
			実績	m	234	140	60	
			達成度	%	100.0%	140.0%	100.0%	
	成果指標	作業道開設計画目標に対する作業道開設済み延長	目標	m	910	910	910	
			実績	m	234	374	434	
			達成度	%	25.7%	41.1%	47.7%	
投下コスト	項 目		総事業費		18年度決算額(千円)	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)	
	事業費（人件費を除く）(A)				882	1,450	4,650	
	人 件 費 (B)		—		393	404	396	
	職 員 数		—		0.05	0.05	0.05	
	職 員 平 均 人 件 費		—		7,853	8,071	7,925	
	(A) + (B) 投下コスト				1,275	1,854	5,046	
	財源内訳	国 庫 支 出 金						
		県 支 出 金						
		地 方 債						
		そ の 他						
		一 般 財 源				1,275	1,854	5,046
	単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—		5,449	13,243	84,100
		市民1人当たりのコスト(円)		—		40	59	163

【事務事業の今までの成果】

間伐材や素材搬出の経費が削減され、森林所有者の売払い収入向上に寄与している。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	国は、森林機能の向上を、二酸化炭素排出削減の効果を上げるための取組みのひとつにとらえている。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	県単事業での簡易な作業道開設事業の制度化を要望していきたい。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性	判 定 に 至 っ た 理 由
A	A 現状のまま継続（実施）	林地の条件により、作業道の開設が採択基準に合致しない地域の森林所有者の造林意欲の向上を図るため。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
B 2	開設後の維持補修や、受益者の負担のあり方も含めた見直しを行いながら、継続すべきと考えます。

一次評価診断図

